

【科目名】発達障害作業療法（講義）		【担当教員】田中 善信
【授業区分】専門分野 (作業療法治療学)	【授業コード】 4-22-0850-0-1	(メールアドレス) y.tanaka@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】2 年次後期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)
【単位数】1	【コマ数】15	【木曜日】13:00～18:00
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) <ul style="list-style-type: none"> 講義及び、小グループ編成によるディスカッション、発表を行いながら授業を進める。 この講義は事前学習がされていることを前提に実施する。課題レポートなどは前もって余裕を持って準備すること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) <ul style="list-style-type: none"> 今後、発達障害分野の作業療法を学ぶ上での基礎となる科目である。 講義で配布する資料の予備は保管しません。出席者からコピーしてもらうこと。 講義中の板書、スライドの携帯電話での撮影は禁止する。 		
【講義概要】 (目的) 肢体不自由児(脳性まひなど)の運動障害や発達障害(自閉症やアスペルガーなど)の認知の障害の評価結果から、治療プログラム立案までのプロセスについて学修することを目的とする。 (方法) 教科書と配布資料、ビデオ教材などによる身体面・認知面における発達障害の演習が中心となる。		
【一般教育目標(GIO)】 肢体不自由児（脳性まひなど）の運動障害の評価結果から治療プログラム立案までのプロセスの概要を述べることができる。 発達障害（自閉症やアスペルガーなど）の評価結果から治療プログラム立案までのプロセスの概要を述べる ことができる。 家族援助、就学、就労支援の概要を述べる ことができる。		
【行動目標(SBO)】 肢体不自由児（脳性まひなど）の運動障害の評価結果から治療プログラム立案までのプロセスを演習し習得する。 発達障害（自閉症やアスペルガーなど）のの評価結果から治療プログラム立案までのプロセスを演習し習得する。		
【教科書・リザーブドブック】 ① 岩崎清隆「発達障害の作業療法 基礎編 第2版」三輪書店 2015年 ② 岩崎清隆「発達障害の作業療法 実践編 第2版」三輪書店 2015年		

平成 26～28 年度入学者用

<ul style="list-style-type: none"> 適宜、資料等を配布する。 									
【参考書】 <ul style="list-style-type: none"> Lois Bly 「写真でみる乳児の運動発達 生後 10 日から 12 か月まで」 協同医書出版社 1998 年 小児科学で使用した講義資料・テキスト 									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) <ul style="list-style-type: none"> 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 定期試験、レポート、小テスト、グループワークなどで総合的に判断する。 									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50	20	20	10				100 点
評価指標	取り込む力・知識	25	20	10					55
	思考・推論・創造の力	25		10					35
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢				10				10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)			時間(分)		
1	<ul style="list-style-type: none"> コースオリエンテーション 発達・発達障害の概要 発達障害児の辿った歴史と作業療法 	講義		教科書①「第 1 章発達障害が意味するもの」「第 2 章発達障害児の処遇の歴史と作業療法」を予習しておくこと			30		
2	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害児に対する作業療法の目的と役割 発達障害領域の作業療法士としての資質と心得について 	講義		教科書①「第 3 章作業療法というアプローチ」を予習しておくこと			30		
3	発達障害領域における作業療法の基礎知識① (原始反射・反応の概要)	講義		《事前課題》 第 3～9 回講義の事前学習として、定型発達のレポートを作成します。 内容： 0～6 歳までの原始反射、運動発達(粗大運動、微細運動)、視覚機能、認知機能、社会性、ADL の発達(※詳細は別紙にて提示) 提出日：第 2 回講義終了後			30		
4	発達障害領域における作業療法の基礎知識② (運動発達:粗大運動・姿勢)	講義		《小テスト(復習)》 前回の内容(原始反射等)について小テストを実施する。			30		
5	発達障害領域における作業療法の基礎知識③	講義		《小テスト(復習)》 前回の内容(粗大運動等)に			30		

平成 26～28 年度入学者用

	(運動発達: 上肢機能、視覚機能)		ついて小テストを実施する。	
6	発達障害領域における作業療法の基礎知識④ (認知機能の発達)	講義	《小テスト(復習)》 前回の内容(微細運動等)について小テストを実施する。	30
7	発達障害領域における作業療法の基礎知識⑤ (心理社会性の発達)	講義	《小テスト(復習)》 前回の内容(認知機能)について小テストを実施する。	30
8	発達障害領域における作業療法の基礎知識⑥ (ADLの発達: 食事・更衣・排泄)	講義	《小テスト(復習)》 前回の内容(心理社会面)について小テストを実施する。	30
9	発達障害領域における作業療法の基礎知識⑦ (ADLの発達: 食事・更衣・排泄)	講義	《小テスト(復習)》 前回の内容(ADL等)について小テストを実施する。	30
10	発達障害領域における作業療法的手段① (遊び: 子どもの遊びの発達と意義)	講義	《事前課題》 第10・11回講義の事前学習として、子どもの遊びの発達についてのレポートを作成します。(※内容の詳細は別紙にて提示) 提出日: 第9回講義終了後	30
11	発達障害領域における作業療法的手段② (遊び: 各ステージにおける子どもの遊び)	講義	《小テスト(復習)》 第10・11回の2回分の内容について小テストを実施する。	30
12	子どもの発達を評価する① (発達検査の概要)	講義	教科書②の「第2章発達検査から学ぶこと」を予習しておくこと。 《小テスト(予習)》 発達検査に関する内容について実施する。	30
13	子どもの発達を評価する② (学生プレゼン: 各種発達障害の検査)	講義	《課題》 ①乳幼児精神発達診断法、 ②KIDS乳幼児発達スケール、 ③フロスティック視知覚発達検査、④新版S・M社会性能力検査、⑤日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査(JMAP)、⑥新版K式発達検査2001、⑦日本版WISC-IV知能検査法、⑧粗大運動能力尺度(GMFM) 以上の検査をグループでまとめ、発表する。 ・発表内容: (1)検査概要 (2)対象年齢 (3)検査方法(デモンストレーションを交えた解説(VTR可)) ・発表時間: 8分	30
14	作業療法の対象を理解する①	講義	事前に資料を配布し、その内容を読み、理解しておくこと。	30

平成 26～28 年度入学者用

	(自閉症スペクトラム障害)		《小テスト (予習)》 自閉症スペクトラム障害の 基礎的な内容について実施す る。	
15	作業療法の対象を理解する② (脳性麻痺)	講義	事前に資料を配布し、その内 容を読み、理解しておくこと。 《小テスト (予習)》 脳性麻痺児の基礎的な内容 について実施する。	30

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。